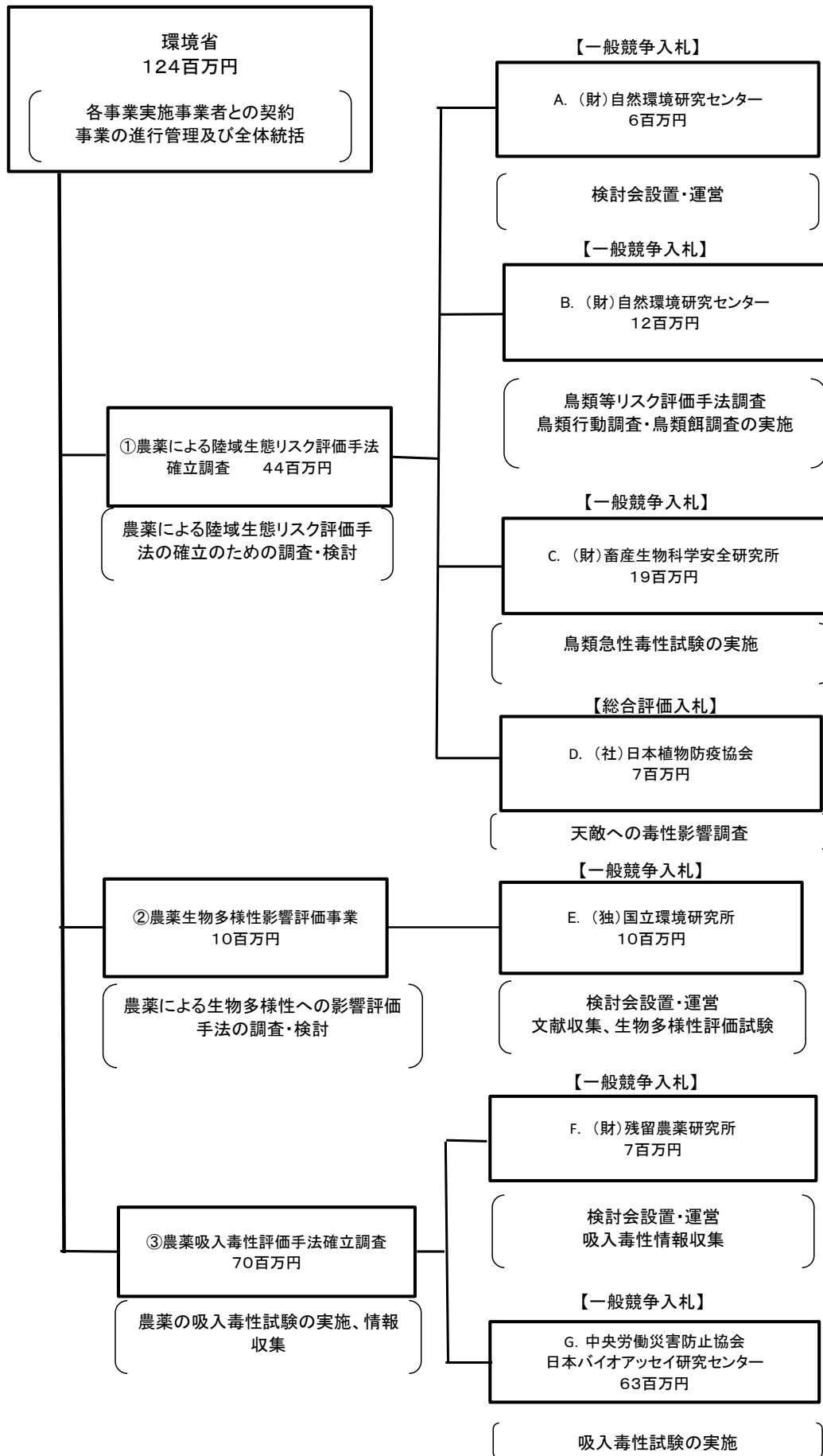


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	農業健康・環境影響対策費		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	水・大気環境局		担当課室	土壌環境課農業環境管理室		農業環境管理室長 西嶋英樹
会計区分	一般会計		上位政策	大気・水・土壌環境等の保全		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・農業取締法(第2条、第3条(農薬の登録)、第12条(農薬の使用の規制)) ・農薬を使用する者が遵守すべき基準(平成15年3月7日農林水産省・環境省令第5号)		関係する計画、通知等	・住宅地等における農薬使用について(平成19年1月31日農林水産省消費・安全局長、環境省水・大気環境局長連名通知)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>① 現行の農薬登録制度では評価対象となっていない陸域生物への農薬による環境影響について、リスク評価・管理措置を導入するための調査を行うほか、生態系全体への農薬による環境影響について評価する手法の検討を行い、生物多様性の維持・保全に資する。</p> <p>② また、公園、街路樹等の病害虫管理のため市街地で使用される農薬の飛散リスクの評価・管理手法を確立するため、農薬の吸入毒性評価を行い、人への健康影響の防止に資する。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>① 陸域生物に対する農薬の毒性評価を行うとともに農薬のばく露実態について調査を行い、リスクの評価・管理措置について検討を行うほか、農薬による生物多様性への影響について評価する手法について検討。</p> <p>② 市街地で多く使用される農薬について動物を用いた吸入毒性試験を実施。</p>					
実施状況	<p>① 陸域生物のうち、鳥類の毒性試験方法について検討するとともに、ばく露実態を把握するため鳥類の行動や餌について調査。また、実験室レベルでの疑似生態系への農薬の影響について調査。</p> <p>② 優先的に情報を収集すべき農薬を選定し、基礎的情報を収集するとともに、実験生態系レベルでの試験を実施し、農薬の使用による生態系への影響を検討。</p> <p>③ 市街地で多く使用される農薬のうち、イソキサチオンについて吸入毒性試験を実施するとともに、これまでの試験結果を活用して「公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアル」(案)を策定。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	164	161	146	135	155
	執行額	82	110	124		
	執行率	50.0%	68.3%	84.9%		
	総事業費(執行ベース)	82	110	124		
自己点検	支出先・用途の把握状況	<p>いずれの調査・試験についても外部有識者によって構成される検討会を設置し、調査・試験の設計から調査・試験の結果について評価し、次年度の事業内容に反映。</p> <p>また、吸入毒性試験については平成21年度限りの事業であったが、その結果を踏まえて「公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアル」(案)を策定するとともに、平成22年度新規事業の設計にも活用。</p> <p>事業の実施に当たっては、事業者に適宜、電話や電子メール等で連絡するとともに、定期的に当省担当者との打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や達成状況を確認している。</p> <p>また、事業実施の成果については、外部有識者を交えた報告会において報告を受ける等の内容確認を行っている。</p>				
	見直しの余地	<p>陸域生物に係る調査については鳥類を中心に着実に成果が得られており、これまでに得られた知見を新たな調査の設計に活用するとともに、調査対象生物種の絞り込みを行っているところ。</p> <p>生物多様性に係る調査については、実験室レベルでの試験では限界があり、ほ場レベルでの試験を行い、生物群全体としての生物多様性に対する農薬影響を把握することが不可欠である。このため、同調査による成果が得られるよう調査内容の見直しを行う必要がある。</p>				
予算・監視・所見率	<p>一部改善</p> <p>(支出実績を勘案するとともに、継続する試験等について効率的な実施に努め、予算の節減に努めるべき。)</p>					
補記						

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金額  
 が支出されている者  
 について記載する。  
 使途と費目の双方  
 で実情が分かるよう  
 に記載)

A.(財)自然環境研究センター			E.(独)国立環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	農業陸域生態リスク評価事業(企画・調査業務)	6	雑役務費	農業による生物多様性影響評価事業	10
計		6	計		10
B.(財)自然環境研究センター			F.(財)残留農業研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	農業陸域生態リスク評価事業(鳥類行動調査・餌調査)	12	雑役務費	農業吸入毒性評価手法確立調査(企画・調査業務)	7
計		12	計		7
C.(財)畜産生物科学安全研究所			G.中央労働災害防止協会日本バイオアッセイ研究センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	農業陸域生態リスク評価事業(鳥類毒性試験)	19	雑役務費	農業吸入毒性評価手法確立調査(試験実施業務)	63
計		19	計		63
D.(社)日本植物防疫協会					
費目	使途	金額 (百万円)			
雑役務費	農業陸域生態リスク評価事業(天敵の毒性影響調査)	7			
計		7	計		